児童発達支援事業所における自己評価結果
（公表）

討議年月日 ： 令和3年3月24日

公表 ： 令和3年3月31日

事業所名 ： チャイルドケア HEARTH ラーニング

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		空間を仕切る事ができる為、 能力に合わせる事が出来る	
	2	職員の配置数は適切である	○		問題なし	
	3	生活空間は本人にわかりやすく構造化された環境になっているか また障がいの特性に応じ事業所の設備等は バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		一部段差はあるが、 必要に応じて声掛けを行っている	
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか また子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		空間を仕切る事ができる為、 能力に合わせる事が出来る	
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル （目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	○		定期的に面談を行い 相談などは随時行っている	
	6	保護者等向け評価表により保護者等に対して 事業所の評価を実施するとともに 保護者等の意向等を把握し業務改善につなげている	○		就学に向けての相談が多く多機能型である事から 慣れている場所を作れる所を評価頂いています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ 事業所として自己評価を行うとともに その結果による支援の質の評価及び改善の内容を 事業所の会報やホームページ等で公開している	○		問題なし	
	8	第三者による外部評価を行い 評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価を行っていない	
	9	職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保している	○		毎月テーマを決めて研修を行っている	今年度よりリタリコ発達ナビを活用し 各自で研修動画を再生し研修が行える体制を取っている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズや課題を 客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成している	○		見直し作業も行い更新を行っている	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために 標準化されたアセスメントツールを使用している	○		情報共有をして共有アプリを活用している	
	12	児童発達支援計画には児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき支援」の 「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で 示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され その上で具体的な支援内容が設定されている		○	地域支援まで行えていない	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		問題ない	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月スケジュールを作成している	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童に合わせた内容に 取り組めるよう支援している	
	16	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を 適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		必要に応じて支援している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		申し送りなど活用している	
	18	支援終了後には職員間で必ず打合せをし その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を 共有している	○		情報共有が必要な事項は アプリを活用している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し 支援の検証・改善につなげている	○		連絡ノートやツールの アプリを活用している	
	20	定期的にモニタリングを行い 児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		問題なし	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		問題なし	
	22	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っている		○	具体的な支援まで行えていない	

関係機関や保護者との連携	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 地域の 保健 医療 障害福祉 保育 教育等 の関係機関と連携した支援を行っている	○		何かあれば随時ご相談頂き 受け入れ態勢を整えます	
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		サマリーなど拝見させて頂き 支援に協力していける	
	25	移行支援として 保育所 や 認定こども園 幼稚園 特別支援学校（幼稚部）等 との間で 支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		成長に合わせて 必要な機関で過せるよう協力します	
	26	移行支援として 小学校や特別支援学校（小学部）との間で 支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		成長に合わせて 必要な機関で過せるよう協力します	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所 発達障害者支援センター等の専門機関と連携し 助言や研修を受けている	○		ご家族からの相談内容等 ご相談させて頂いてます	
	28	保育所 や 認定こども園 幼稚園等 との交流や 障がいのない子どもと活動する機会がある		○	特別設けていない	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の 子ども子育て会議等へ積極的に参加している	○		参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い 子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳、 必要に応じで随時面談を行っています	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から 保護者に対して家族支援プログラム （ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		行政の指示のもと対応している	
保護者への説明責任等	32	運営規程及び利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に書面を確認しながら行っている	
	33	児童発達支援ガイドラインの 「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら 支援内容の説明を行い 保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		問題なし	
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて面談等を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり 保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援している		○	必要と感じていない保護者が多い	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて 対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し 相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		問題なし	
	37	定期的に会報等を発行し 活動概要や行事予定 連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPやイベント事は随時お知らせしている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵付き書庫等で保管している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	○		きちんと伝わっているか確認を行っている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	○		地域での活動に招待される事がり、 可能な限り参加している	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル 防犯マニュアル 感染症対応マニュアル等 を 策定し職員や保護者に周知するとともに発生を想定した訓練を 実施している	○		随時更新し周知している	
	42	非常災害の発生に備え 定期的に 避難 救出 その他必要な訓練 を行っている	○		備蓄品などの点検は月に一度行っている	
	43	事前に 服薬 や 予防接種 てんかん発作等 のこどもの状況を確認している	○		見学時に確認を行い 緊急時の対応も確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて 医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーをお持ちのお子様に限り 極力事業所では提供せず 個別対応で対応している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎月のMTGで情報共有を行っている	
	46	虐待を防止するため職員の研修機会を 確保する等の適切な対応をしている	○		研修に取り入れて周知している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて 組織的に決定し子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で 児童発達支援計画に記載している	○		ご家族に相談をし 了承を得てから取り組んでいる	